

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	ミュラー管由来悪性腫瘍(卵巣がん・卵管がん・腹膜がん)に対する臨床病理学的予後因子および長期予後に関する疫学的研究(B22-234)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部 産婦人科学[婦人科学] 教授 加藤一喜
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>卵管がんと腹膜がんの発症頻度は稀ですが、卵巣がんと同様に自覚症状に乏しく、腹膜播種を伴う進行癌で見つかることが多いです。これら3つのがんは特徴が似ているため、まとめてミュラー管由来悪性腫瘍と呼ばれています。当院では日本婦人科腫瘍学会のガイドラインを遵守しつつ、最新の知見を取り入れた最善の治療を行っております。治療法の進歩に伴い生存率は年々改善されていますが、患者さんの予後を改善する因子は完全に解明されているとは言えません。</p> <p>そこで当院婦人科では、卵巣がん、卵管がん、腹膜がんの患者さんの診療記録を後方視的に調査する事により、予後と関連する因子を同定する「ミュラー管由来悪性腫瘍(卵巣がん・卵管がん・腹膜がん)に対する臨床病理学的予後因子および長期予後に関する疫学的研究」を行うこととしました。</p>
調査データ 該当期間	2004年1月1日から2027年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2004年1月1日から2025年9月30日に当院で初回治療を受けたミュラー管由来悪性腫瘍(卵巣がん・卵管がん・腹膜がん)の患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>上記対象患者さんの2027年12月31日までの診療記録、検査データを利用します。</p>
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は産婦人科学教室研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申

	<p>し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>所属・職位：北里大学医学部 産婦人科学[婦人科学]、診療講師</p> <p>担当者：古川正義(フルカワセイギ)</p> <p>電話：042-778-8414</p>
備 考	